

# 「大仏パネル」学習指導案

日 時： 令和5年7月14日（金）

9：25～10：10（2校時）

場 所：出雲市立みなみ小学校 体育館

対象者：同校6年生13名

指導者：○6年担任

○島根県立古代出雲歴史博物館

## 1. 主題（主題名）

「奈良の大仏」の巨大さと、込められた思い

## 2. ねらい

- ・「奈良の大仏」について体験的、専門的に学び、巨大さとともに、込められた先人の思いについても触れる。
- ・島根の歴史・文化に対する興味・関心を高める。

## 3. 展開

学習活動	指導者の支援及び留意点
0925-0935（10分） ①はじめに ②奈良時代の出雲市内の遺跡を紹介し、遺物に触れる。	<ul style="list-style-type: none"><li>・出雲市内の遺跡出土遺物に触れる。</li><li>・遺物の持ち方は歴博の職員が指示する。</li></ul>
0935-0945（10分） ③奈良の大仏について、造られた背景と、大仏の特徴について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"><li>・「奈良の大仏」の実物大パネルを活用。</li><li>・造立の背景、大仏開眼式について説明する。</li></ul>
0945～1005（20分） ②「奈良の大仏」について、その巨大さについて体験を通して学ぶ。 ※1m四方の部品パネルをパズル形式で組み立てていき、高さ18mの大仏を完成させる。	<ul style="list-style-type: none"><li>・一方的な説明に終始せず、子どもたちが「気づき」「わかる」よう、質疑応答の対話形式で進行。</li></ul>
1005-1010（5分） 学習の振り返り・感想	
10:10-10:20（10分） 片付け	

## 3. 準備物等

小学校：筆記用具、ノート、長机

博物館：大仏パネル一式、遺物セット、アンケート用紙